

[別紙一 1] 概要文

技術開発・工事一体型調達方式の入札手続きについて（億首ダム底泥掘削工事）

河川課 課長 ◎伊藤 誠紀
課長補佐 ◎宮城 一正
工務係長 ○長嶺 朝仁

1. 目的

公共調達の制度において、技術開発を促す仕組みとして技術開発と工事の一体的な調達を取り入れることにより、民間の技術研究開発意欲を促進し、より質の高い社会資本整備を進めることを目的とした「技術開発・工事一体型調達方式」の試行を各地方整備局で行った。

今回、億首ダムにおいて実施した「億首ダム底泥掘削工事」について、官報公告前から落札者決定までの一連の手続きの流れについて紹介する。

2. 内容

（1）技術開発・工事一体型調達方式とは

同方式は、技術開発と工事を一括して発注する「技術開発・工事一括型（A型）」と、別々に発注する「技術開発・工事分離型（B型）」があり、本工事は、技術開発の基礎となる研究開発が既に終了しており、開発した技術の工事への適用性等の検証が比較的容易であることから、「技術開発・工事一括型（A型）」を採用した。

（2）手続きの流れについて

1) 官報広告までに決めたこと

- ①競争参加資格者の要件設定について
- ②評価項目

イ. 企業の技術力、信頼性・社会性（15点）

- ・赤土砂等流出防止対策
- ・企業の同種工事の施工実績
- ・配置予定技術者の同種工事の施工実績
- ・米軍提供区域での施工実績

ロ企業の高度な技術力（VE）提案（55点）

- ・技術開発に係る技術提案
- ・技術提案に係る具体的な施工計画
- ハ施工体制評価点（30点）

- ・品質確保の実効性
- ・施工体制確保の確実性

③評価値の算出方法（除算方式）

評価値=技術評価点【基礎点（100点）+加算点】／入札価格

2) 技術提案等の審査体制について

本工事は、アンチモンを含んだ底泥を掘削除去し、不溶化処理した上で盛土する予定であるが、アンチモンを取り扱った事例が稀少であることから、特に技術的、化学的な知見から審査、評価に対して、学識経験者専門家で構成するアドバイザーミーティングから技術的指導・助言を仰ぎ、技術審査会・総合評価委員会において審査・決定を行った。

3. 結論

今回、企業の高度な技術力（VE）提案として、不溶化技術を求めたが、結果的には技術評価点の下位の社が受注する結果となった。

4. 今後の問題点

- ・入札額が安い社が受注することとなったことから技術評価点の検討が必要。
- ・今後、現場において技術開発を実施し、技術開発成果の評価・確認を行なう必要がある。